

令和2年12月22日

白河市教育委員会

12月定例会会議録

令和2年12月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 令和2年12月22日(火)
開 会 午後3時00分
閉 会 午後4時20分

場 所 白河市役所 全員協議会室

報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 各課所報告

○ 出席委員

教育長 芳賀 祐司 1番委員 金子 英昭 2番委員 北條 睦子
3番委員 沼田 鮎美 4番委員 瀧澤 学

○ 欠席委員

なし

○ 出席説明員

理事兼教育次長	水野谷 茂	教育総務課長	田崎 修二
学校教育課長	加藤 正行	生涯学習スポーツ課長	遠藤 英喜
中央公民館長	根本 純子	図書館長主幹兼副館長	中沢 孝之
健康給食推進室長	小針 博之		
学校教育課学校統合準備室長		和知 秀年	
学校教育課主幹兼課長補佐兼指導係長	稲川 竜寿		

○ 書記

教育総務課課長補佐兼総務係長 高久 忠雄 教育総務課副主査 小針 拓也

○ 傍聴人 1名

【午後 3 時 00 分開会】

○教育長

これより令和 2 年白河市教育委員会 1 2 月定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。日程に入るに先だち、白河市教育委員会傍聴人規則第 2 条の規定により、本日の傍聴を許可しましたので、ご報告申し上げます。

日程第 2 会期の決定

○教育長

次に、日程第 2、会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、本日 1 日間といたします。

日程第 3 書記の指名

○教育長

次に、日程第 3、書記の指名を行います。書記には教育長において、高久教育総務課課長補佐、小針教育総務課副主査を指名します。

日程第 4 教育長報告

○教育長

それでは、私から 3 点報告いたします。まず 1 点目ですが、平成 2 8 年 1 2 月から 4 年に渡り教育委員を務めていただきました金子英昭教育長職務代理者ですが、本日 1 2 月 2 2 日で任期満了となります。白河市の教育行政の為に尽力いただいたことを心より感謝申し上げます。後ほどご挨拶をいただきます。それに伴って 1 2 月市議会において、新教育委員として、高橋顕氏が同意されましたのでご報告いたします。なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 3 条第 2 項の規定に基づき、令和 2 年 1 2 月 2 3 日からの教育長職務代理者について高橋委員を指名しますので、よろしく申し上げます。

2 点目ですが、1 2 月議会ではたいへんお世話になりました。教育委員会として提出した、白河市総合運動公園及び白河市しらさかの森スポーツ公園の指定管理者の指定及び補正予算案はすべて可決しましたので、報告します。

3 点目です。政府が小学校で一学級あたりの上限人数を来年度から学年毎に引き下げ、全学年を 3 5 人学級にする方針を決めたという報道がなされました。すでに小学 1 年生は上限が 3 5 人となっておりますので、来年度より 2 年生が対象となります。本県ではご存じのように小学 1・2 年生が 3 0 人学級、それ以外が 3 0 人程度学級、具体的には 3 3 人を基準としておりますので、次年度は大きな変化はありませんが、県が今後、どのような学級編制基準とするのか動向を注視していきたいと思っております。以上です。

日程第5 各課所報告

○教育長

次に日程第5、「各課所報告」に入ります。

各課所の取組や課題など、説明が必要であると思われる事案についてご報告いただきます。まずは、教育総務課より補足事項を報告願います。

(教育総務課長より報告)

○教育長

続きまして、「白河市立小学校・中学校の卒業式について」、学校教育課より報告をお願いします。

(学校教育課長より報告)

○教育長

続きまして、「令和3年白河市成人式について」、生涯学習スポーツ課より報告をお願いします。

(生涯学習スポーツ課長より報告)

○教育長

続きまして、「五箇中学校統合計画について」、学校統合準備室より報告をお願いします。

(学校統合準備室長より報告)

○教育長

これより一般質問に入ります。ただいまの各課所報告並びに本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○金子委員

小・中学校の卒業式についてですが、前回はコロナの影響で教育委員の参列はなかったと思いますが、教育委員は市立の小・中学校を監督する立場なので、参列した方がいいのだろうと感じていましたので、今回、出席者の中に教育委員が入っているので良かったと感じました。感染拡大防止に向けての細かい点については配慮されていると思いますので、資料のとおりに対応で実施してもらうのが良いと思います。

次に、成人式についてですが、私はとても心配しています。県内ではコロナの感染者が増加して、今日のマスコミの発表では病床使用率が25%を超え、36.2%であるとのことでした。昨日の記者会見の様子を見ていましたが、記者が感染状況についてステージ

はいくつかと質問したのに対し、県の担当者は病床使用率以外の要素も踏まえてステージ2と回答していました。県が示すステージが3に引き上げられた場合、成人式の実施は控えるということよろしいですか。

○生涯学習スポーツ課長

ステージ3の場合は、オンラインでのライブ配信のみの実施を予定しております。

○金子委員

ステージ2とステージ3の違いには、病床使用率以外の基準としてどのようなものがありますか。

○生涯学習スポーツ課長

病床使用率以外には、重症者用病床の使用率、人口10万人あたりの全療養者数などがあります。人口10万人あたりの全療養者数については、ステージ3の目安は15人以上であります。本県の12月19日現在の状況は9.21人と目安を下回っています。PCR検査の陽性率で見ますと、ステージ3の目安の10%に対し、12月19日現在で2.9%と、こちらも目安を下回っています。また、感染状況として新規報告数、これは人口10万人あたりの1週間の感染者数ですが、ステージ3の目安の15人に対し、12月19日現在で6.55人と目安を下回っています。感染経路不明割合についても、ステージ3の目安の50%に対し、12月19日現在で21.5%と目安を下回っています。病床使用率はステージ3の25%の目安を超えていますが、それ以外の項目の目安は超えていない状況となっております。

○金子委員

ご説明ありがとうございました。全国的に帰省を控えましょうと呼びかけられていますが、帰省についても心配に思っています。白河から全国に巣立っていった人たちが皆一様に戻ってくるようになります。戻ってきた人たちは、家族の中に入り、成人式の準備をするために美容院に行ったり、その他のところにも行ったりすると思います。成人式の式典自体に関しては、それほど心配していないのですが、会場でいくら注意を呼びかけても久しぶりに会う友人たちと式典の前後にお話をすると思います。そして、成人式が終わった後には、三々五々に街に流れていくことになると思います。誰か1人でも感染者がいて、他の参加者にウイルスを移してしまうことになっては大変なことになるのではないかと心配しています。事務局の皆さんも同じように心配をされてガイドラインを作成されていると思うのですが、どのようにお考えでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長

成人式を実施する場合には、ガイドラインに沿って感染拡大防止対策を徹底しながら実施したいと考えています。首都圏をはじめ、福島県内、特に県北地方では感染者数が増加していますので、今後の全国的な感染状況や市内の感染状況を踏まえ、場合によっては開催中止の可能性もあると考えています。

○金子委員

実施方法に関する最終判断については、いつ頃を目安に考えていますか。

○生涯学習スポーツ課長

まだ具体的な日にちは決めておりませんが、参加される方々になるべく早くお知らせできるよう対応していきたいと考えております。

○金子委員

わかりました。よろしく願いいたします。続いて、五箇中学校の統合についてですが、12月4日に行われた五箇中学校統合計画PTA本部役員説明会と21日に行われた保護者説明会の時の様子について、説明いただけますか。

○学校統合準備室長

まず、PTA本部役員説明会についてですが、PTA本部役員の方には、皆さんから統合に向けて積極的に協議を進めてもらいたいと意見をいただきました。保護者説明会については、これまでの検討委員会でも様々な意見が出ましたが、検討委員会と同様に統合について心配であるという保護者の意見が多くありましたので、お互いの学校の子どもたちが良好な人間関係を築いていけるよう、来年度から3年間の交流活動を予定していることを説明いたしました。また、中央中学校では毎年4月に修学旅行を実施していることから、五箇地区から通う生徒も統合後にスムーズに一緒に行けるよう配慮していただきたいという意見もございました。

○金子委員

保護者の方々が統合について心配されているという意見に対して、事務局からその対応について説明した後の保護者の方々の反応はいかがでしたか。

○学校統合準備室長

今回が初めての保護者説明会でしたので、令和6年4月の統合時期について説明を受けて戸惑いを感じていると思われる方も中にはいらっしゃいました。また、統合について心配に思う方から疑問点等に関して発言が多くありましたが、会場の雰囲気から察するに、これから統合に向けて進めていくことに対して大部分の保護者の方にはご理解をいただけたと考えています。

○金子委員

デリケートな内容ですので、会場の雰囲気や感触が大切だと思います。36名の参加人数は、五箇中学校としては多いのでしょうか。

○学校統合準備室長

五箇地区の実家庭数は、小学校が55世帯、中学校が28世帯です。小学生と中学生が

いる重複家庭の数については計算していないので、実数はもう少し減ります。小・中学校合わせた83世帯のうち36名に出席いただきましたが、4日に開催したPTA本部役員説明会に出席された本部役員と合わせますと、約50名の保護者の方に説明を行ったこととなります。

○金子委員

ご説明ありがとうございました。私からは以上です。

○瀧澤委員

図書館の報告事項の中で、移動図書館学校訪問がコロナのため中止となっていますが、どのような経緯で中止に至ったのか説明をお願いします。

○図書館副館長

移動図書館ですので、学校にバスを乗りつけることとなりますが、バスの中はどうしても密になる状況が生じることから各学校と協議をしましたところ、学校側から訪問をご遠慮いただきたいと意見がございましたので、中止とさせていただきます。

○瀧澤委員

他の地域でも学校から同じような意見が出ていますか。

○図書館副館長

大信図書館では移動図書館を実施しております。資料15ページの写真にあるように、子どもたちがバスに入らないような工夫をしています。箱に本を入れていって、広い場所に置いて子どもたちにとってもらう形をとっています。同じように東図書館でも工夫をして学校とよく相談をすれば実施が可能と思われます。

○瀧澤委員

表郷図書館では移動図書館はないのですか。

○図書館副館長

表郷図書館は移動図書館がありませんので、大信図書館と東図書館が実施しております。東図書館でも実施できるよう学校とよく相談をして子どもたちに本を届けていきたいと思えます。

○瀧澤委員

小・中学校の卒業式についてですが、保護者代表挨拶は「なし」となっています。私の子どもの中学校の卒業式時には、学年委員長が保護者代表挨拶を行っていました。コロナを考慮して「なし」にすることも理解できるのですが、文書配布に代えるなど他の方法はありますか。

○学校教育課長

保護者代表挨拶は、卒業式の中にある学校と無い学校があります。保護者代表謝辞として
いる学校もあると聞いています。保護者代表挨拶については、行っていただくよう学校
からお願いする性質のものではないと考えていますので、時間短縮や式の趣旨を踏まえて
全校統一して「なし」としています。また、PTA会長の祝辞はいただくことになってい
ますので、PTA会長の祝辞を保護者代表挨拶に代えられるものと考えています。

○瀧澤委員

PTA会長の祝辞が文書配布に代えられるのであれば、保護者代表挨拶も文書配布に代
えられるのではないかと思いましたが、保護者代表挨拶がある学校とない学校があるの
は、全校統一して「なし」とするのも仕方ないのかなと思います。

○学校教育課長

それぞれの学校の学年委員長の方が工夫される部分かと思しますので、教育委員会とし
てこのようにしてくださいと言うことは必要ないと考えています。

○教育長

保護者代表挨拶があると式が引き締まるような気がしますが、コロナの関係で短縮しな
ければいけないので、各学校で工夫してもらえれば良いと思います。

○沼田委員

まず、成人式についてですが、私も金子委員と同じように心配しています。式自体は実
施した方が良いとは思いますが、もしもコロナウイルスを持つ人がいたら、そこから感染
が広がってしまうのではないかと懸念しています。成人式の開催方法をいつまでにお知ら
せするのが重要だと思うのですが、参加される方にはこれまでに何か案内をしているの
でしょうか。

○生涯学習スポーツ課長

前回まではハガキを送っておりましたが、今回は出欠をとるために往復ハガキを10月
頃に送っています。12月20日を返信期限とし、今日も何通か返信が来ています。今日
現在で約510名の参加申込があります。往復ハガキには感染防止対策をお願いする内容
を記しています。12月に入ってガイドラインができましたので、出席申込があった方
については、ガイドラインを送付しています。

○沼田委員

往復ハガキの送り先は、白河の実家ですか。県外に出ている方の住所は分からないと思
いますが、実際に住んでいる住所については把握していますか。

○生涯学習スポーツ課長

往復ハガキは、市内に住基登録がある方を送付対象としていますので、市外に転出して

しまっている方は対象にならないのですが、現在106名の送付対象外の方から成人式の出欠について連絡ありましたが、86名の方から出席の連絡をいただいております。

○沼田委員

住基登録がないということは白河にはいないということですか。

○生涯学習スポーツ課長

白河に住所が無いということです。また、住基登録がある場合でも、学生ですと住所を異動せず実家に残したままという方もいますので、白河に住所があるからといって白河に実際に居住しているかは定かではありません。

○沼田委員

現在の住所が分からない方もいるということですので、出席される方については現住所も把握される方がよろしいかと思えます。

○生涯学習スポーツ課長

参考にさせていただきます。

○沼田委員

次に卒業式についてですが、今年の3月は私の長女が小学6年生で卒業式を行いました。卒業式が行えたことは嬉しかったのですが、悲しい感じもしました。今回は1年をかけてコロナ対策をしてきましたので、子どもたちにとって思い出に残るような卒業式を各学校で考えてもらえればと思います。感染予防対策は基本として、式の内容の中でアレンジできる部分については各学校に任せても良いと思います。

続いて五箇中学校の統合計画についてですが、内容を見させていただきましたが、保護者目線で文章が書かれていて、先月の計画案に比べ、とても良く出来上がっていると思いました。保護者の中には統合に対して心配であるという意見もあるかと思いますが、どのあたりが心配なのか深掘りしていただければと思います。一人ひとりに丁寧に答えたり不安を取り除いたりすることは難しいとは思いますが、真摯に対応する姿勢を見ただけであれば納得される部分もあるかと思えますので、よろしく願いいたします。

○北條委員

資料18ページの学校給食センター報告事項の食物アレルギー面談についてですが、アレルギーを抱えている子との面談だと思いますが、具体的な内容について教えていただけますか。

○健康給食推進室長

食物アレルギー面談は、アレルギーをお持ちの児童生徒の保護者と学校長、教頭先生、栄養士、養護教諭が面談をいたします。医師からの診断書を提出していただきまして、どの食品がアレルギーに該当するのかを聞き取り、給食からアレルギーの食品を除去できる

のか等について話をするのですが、どうしても除去できない場合には弁当持参をお願いすることもあります。

○北條委員

アレルギーを持つ児童生徒のためにアレルギー食品を除いた特別な献立を用意することはありますか。

○健康給食推進室長

例えば、魚アレルギーを持つ場合には、代わりに鶏肉を出したり、ごまアレルギーを持つ場合にはごまを除去したりするなど、他の児童生徒と同じような献立からアレルギー食品を可能な限り除去する形で提供しています。

○教育長

子どもの中には食物アレルギーによってアナフィラキシー反応の症状が出る子どもがいますので、保健室にアナフィラキシー補助治療剤のエピペンを置いている学校もあります。

○金子委員

資料3ページの行事予定の中で、1月19日に教育課程編成協議会が予定されていますが、来年度に向けて学校が授業や行事等の教育課程の編成作業を始めることになると思いますが、来年度もコロナの影響は大きいと思われるので、コロナを中心に考えたときに来年度の教育課程編成をどのように工夫されようと考えているのか教えてください。また、生涯学習スポーツ課、公民館、図書館も今年度コロナの影響を大きく受けてきたと思いますので、コロナの影響を考慮しながら来年度の事業をどのように進めていこうとしているかについてそれぞれ説明をお願いします。

○教育長

それでは、学校教育課、生涯学習スポーツ課、公民館、図書館の順で説明をお願いします。

○学校教育課長

来年度の教育課程について、校長会でも少しずつ議論をしているところです。基本的には、感染予防対策をしつつ、どうすれば子どもたちの力が付くような学習、各種行事等が行えるかという視点から各学校の校長先生と話をしているところです。行事の中には今年1月に予定していた行事を2月に実施せざるを得ないということもありましたが、実施したことである程度の見通しを持つことができた行事がありました。例えば、運動会を1学期に実施することも可能ではないかという意見が校長先生から出ています。各学校でも各種行事等の時期や内容について議論していただきながら、工夫を交えて教育課程編成を進めていきたいと考えています。

○生涯学習スポーツ課長

今年は一しかわ駅伝を開催しませんでした。福島駅伝が距離を昨年の約半分に短縮して開催されたり、先日は全国高校駅伝が開催されたりしている状況で、少しずつスポーツ関係のイベントも動きつつあります。全国的に行われている感染防止対策を参考にしながら来年度のししかわ駅伝を進めていきたいと考えています。また、来年はオリンピックの年でもあります。白河はカタールのホストタウンになっていますので、カタールの選手たちを温かく迎えるとともに、なでしこジャパンの一員として出場すると思われます白河市出身の遠藤純選手の応援をしながらオリンピックを盛り上げていきたいと考えています。

○中央公民館長

公民館では、今年度は手指消毒、マスク着用の徹底を図りながら、一つの教室につき定員を30名程度に制限し教室を開催しておりましたが、参加を自粛される方もいましたので、20名程度の参加者数で各教室を開催してきました。来年度についても、全国公民館連合会のガイドラインを参考に、人と人との間を1mから2mの間隔を空け、定員数を20名程度に減らす等して実施したいと考えています。また、今年度はバス研修については中止とさせていただいたところですが、施設研修を楽しみにしている方も多くいらっしゃいますので、二人掛けのイスに一人で座り、バスの定員数を減らして実施できればと考えています。

○図書館副館長

図書館では、コミネスが来年で開館10周年を迎えますので、どのような行事を行うか検討しているところです。新しい生活様式に基づき、密を避けながら図書館独自で何かできるものがないか考えています。現在、図書館では冊数はそのまま貸出期間を延長し5週間の貸出をしています。できるだけ一度に多くの本を借りて、お家で読書していただくことを幅広く呼び掛けています。先ほど瀧澤委員にご指摘いただきましたが、各地域にも本を届けていきたいと思っておりますので、各学校と相談をしながら移動図書館を実施したいと考えています。

○金子委員

ありがとうございました。それぞれの課で行われている事業や行事は、必要性が高くてこれまで行われてきたものだと思います。私が心配していることは、感染を警戒するあまり萎縮しすぎて集団で行う活動が減ってしまうことによって、人と接して得られるものや培われる機会が減少してしまうことです。それぞれの課の事業を楽しみにしている方がたくさんいると思いますので、ガイドライン等に沿って工夫を凝らしながら実施に向けて検討していただければと思います。

○教育長

成人式については、全国の感染状況や他の市町村の動向を見ながら検討を進めたいと思います。卒業式については、対応等の目安は教育委員会が作りますが、子どもたちにとって思い出に残る大きな行事の一つですので、良い形で実施できるよう各学校でも工夫するようお願いしたいと思います。次年度の各種計画については、作成する段階での判断で当

初計画を作成して、後の感染状況に応じて変更せざるを得ないと思います。学校に関しては、月一回の校長会で意見交換する時間を多くとっていますので、意見交換を大事にしながら計画作成を進めたいと思います。学校現場では通常時でも業務量が多いのですが、コロナの対応に加えGIGAスクールも推進していかなければなりませんので、非常に煩雑化しております。学校の意見も取り入れつつ協力し合って、削減できるものは削減する等して子どもたちに良いものを残せるように工夫していきたいと思います。

○教育長

他にございますか。よろしいですか。それでは、これにて一般質問を終了いたします。

日程第6 その他

○教育長

次に日程第6、その他に入ります。各課所の取り組みや課題などについてご意見・ご質問等がありましたらこの場で取り上げたいと思いますが、何かございますでしょうか。

○北條委員

11月25日に小野田小で開催された第2回iPadを使用したモデル校授業オンライン研修会と11月27日に行われた白河第二小学校研究公開の視察に参加いたしましたので、感想を述べさせていただきます。

第2回iPadを使用したモデル校授業オンライン研修会の5年生の算数の授業では、台形の面積の求め方を学習していました。色々ある求め方をiPad上で生徒同士が共有できたり、先生が机間巡視をしなくても手元で生徒がどのように求めているかを確認できたりすることに驚きました。白河第二小学校研究公開では、先生が机間巡視をしていましたので、iPadはすごいと感じたところです。6年生の歴史の授業では、幕末のノルマントン号事件の風刺画を取り扱っていました。歴史は不得意とする子どもが多いと思いますが、先生の授業の組み立てが上手だったのもあり、iPadに教科書の挿絵を大きく表示させて、船の上にいる船長や海で溺れている人はどこの国の人でどのような状況なのかを考えていました。この事件は、船長が人種差別で溺れている日本人を見殺しにしたにも関わらず、裁判で軽い刑の判決が下されたわけですが、そこから不平等条約に結び付けて教えていました。教科書であれば、機械的に覚えるだけになってしまうと思いますが、iPadであるからこそ一連の流れでわかりやすく教えることができているのだと感じました。今の子どもたちは、タブレット等に触れて育っていますから、歴史の授業が少しでも好きになれば良いと感じました。白二小の先生は、iPadの活用が進むことで文字を書くことが少なくなるのが心配だと仰っていました。どの時代であっても書くことは大事だと思いますので、iPadでも漢字や英単語を練習できると良いと思いました。オンライン研修会後は、沼田委員とiPadの良い面ばかり話をして帰りました。

○教育長

沼田委員からは何かありますか。

○沼田委員

i P a dは子どもの興味を惹きつける力が強いのではないかと思います。授業中、ある生徒は、自分の答えに自信が無かったのか、i P a dでノートを見返していました。答えを見てしまっただけなのに、自分が見たいものをいつでも引き出せる環境は素晴らしいと感じました。大人は苦手意識があるかもしれませんが、これからの時代はタブレット等を使いこなせないと社会や生活面でも活かすことができなくなってしまいますので、早く導入されることを期待しています。

○学校教育課長

i P a d活用の良い面を見ていただきましてありがとうございます。小野田小学校にはモデル校として従来の授業を活かしながらi P a dをどのように利用するのが有効なのか研究してもらい、市内全体の学校にその成果を広げてもらうことをお願いしています。小野田小学校には、次年度も引き続きモデル校としてお願いする予定ですので、教育委員会としても支援していきたいと考えています。

○教育長

他にはよろしいでしょうか。では、これにて全ての日程が終了しましたので、以上で、白河市教育委員会12月定例会を閉会いたします。

【午後4時20分閉会】

以上の記録が正確なことを認め、ここに署名する。

令和3年1月21日

教 育 長

1 番 委 員

2 番 委 員

3 番 委 員

4 番 委 員